この度はTIMEXウォッチをお買い上げいただき有難うございます。
TIMEXウォッチの機能をご理解いただき、製品を正しくご使用いただくため、取扱説明書はよくお読み下さい。
また、取扱説明書はお手元に保管していただき、必要に応じて、ご参照下さいますよう、お願い致します。

1. 機能

時刻表示	➡	時 / 分 / 秒　表示
時刻表示	➡	「12時間制時刻表示」「24時間制時刻表示」 時刻表示の選択可能
カレンダー	➡	月 / 日 / 曜　表示
カレンダー	➡	「月／日」または「日／月」 ☒日付表示の選択可能
アラーム	➡	任意設定アラーム
チャイム	➡	毎正時・時報チャイム
☒クロノグラフ（ストップウォッチ）	➡	1/100秒から12時間未満まで計測
カウントダウン・タイマー	➡	最大24時間からのカウントダウン計測
INDIGLO ナイトライト	➡	液晶画面を明るく表示

2. INDIGLO ナイトライト

Aボタンを押すと液晶画面が光ります。
INDIGLO ナイトライトに使用されているエレクトロルミネッセンス技術（米国特許）が液晶画面を明るくし、暗いところや夜間でもはっきり見える構造にしています。

3. ナイトモード機能

この時計には、ナイトモード機能が装備されています。
ナイトモード機能とは、どのボタンを押しても約3秒間INDIGLOナイトライトが点灯する機能です。
Aボタンを約3秒間押し続けるとアラーム音が鳴り、設定したことを知らせます。
一定時間経過すると自動的に解除されますが、強制解除する場合は、 設定と同じくAボタンを約3秒間押し続けるとアラーム音が鳴り、解除したことを知らせます。

4. 液晶表示の切り替え

Cボタンを押すごとに表示が切り替わります。

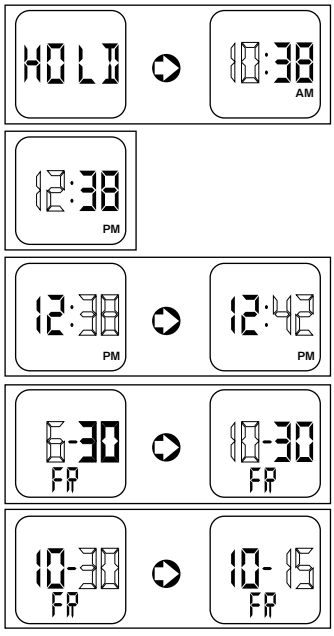
5. 各種アイコンマーク

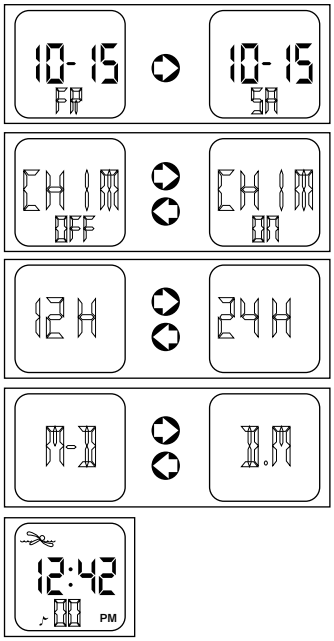
	➡	アラームを「ON」に選択すると表示されます。
	➡	クロノグラフが作動すると点滅します。
	➡	タイマーが作動すると点滅します。
	➡	チャイムを「ON」に選択すると表示されます。
AMもしくはPM	➡	「12時間制時刻表示」に選択すると表示されます。
	➡	「クロノグラフ」と「タイマー」が作動すると動作します。 「クロノグラフ」「タイマー」を作動させずに時刻表示にした場合は、交互に（10秒間隔）に動作します。

6. 時刻・カレンダーの設定

時刻が表示している画面から設定を始めます。
時刻・カレンダー設定に必要なボタンは以下の3つのボタンです。

ボタン名称		機能
Dボタン	➡	設定開始／設定終了
Bボタン	➡	修正ボタン
Cボタン	➡	点滅移動ボタン





1. Dボタンを約3秒間押し続けると「HOLD」表示に続いて「時」位置が点滅します。
2. Bボタンを押して「時」を設定して下さい。
☒
3.以降、Cボタンを押すと「分」「月」「日」「曜」「時報アラームの選択」「12-HRもしくは24-HR表示」「M-DもしくはD.M表示」の順に点滅が移動しますので、Bボタンを押して修正して下さい。

注意:「CHIM」を「ON」に選択すると、毎正時に時報チャイムが作動します。

注意:点滅移動の際「12-HR」もしくは「24-HR」表示が点滅しますが、これは時刻表示の12時間制・24時間制を意味していますのでご希望の表示を選択して下さい。

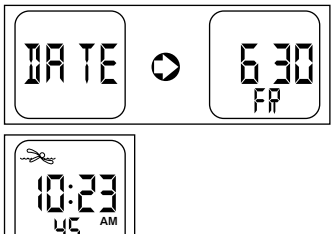
注意:点滅移動の際「M-D」もしくは「D.M」表示が点滅しますが、これは日付表示の配列を意味しています。「M-D」の場合は「月／日」の配列になり、「D.M」の場合は「日／月」の配列になりますのでご希望の表示を選択して下さい。

☒
4. 修正完了後、Cボタンを押すと点滅が停止して設定完了となります。
☒

注意:設定を完了させる時に正時に合わせて完了させると「秒」を正確に設定することが出来ます。

7. カレンダー表示について

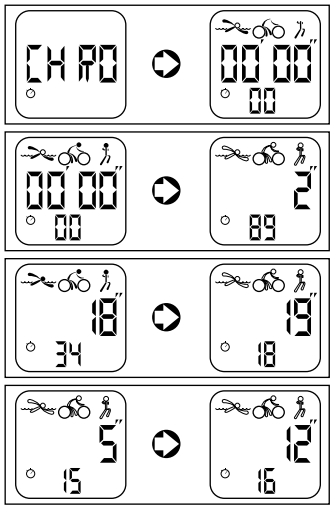
時刻表示の状態からBボタンを1回押すと「DATE」表示に引き続きカレンダー表示（約3秒間表示）になります。

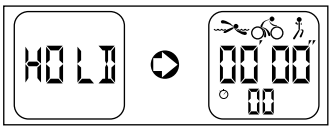


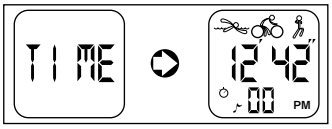
注意:カレンダーは設定後、自動的に日付変更しますが、「閏年の2月29日」は自動表示されません。2月28日から3月1日に自動的に日付変更しますので、「2月29日」に修正して下さい。
「曜」表示は、英語の頭文字2文字で表示されます。（例、金曜日の場合はFRとなります）

8. クロノグラフ（ストップウォッチ）の使用方法

時刻表示からCボタンを1回押すと「CHRO」表示に引き続きクロノグラフ表示になります。







ストップウォッチに必要なボタンは以下の2つのボタンです。

ボタン名称	機能
Bボタン	☒スタート/ストップ
Dボタン	スプリットタイム/クリアー

クロノグラフ（ストップウォッチ）を使用する場合

1. クロノグラフ画面の状態からBボタンを押して計測をスタートさせます。
2. 計測中にBボタンを押すと計測が停止します。
3. 計測を停止した状態でDボタンを約3秒間押し続けて下さい。
「HOLD」表示に引き続き、計測したタイムがクリアー（消去）されます。

スプリット計測を使用する場合

1. クロノグラフ画面の状態からBボタンを押して計測をスタートさせます。
2. 計測中にDボタンを押すと計測が一時停止してスプリット計測を表示します。（約7秒間表示）
スプリット計測は必要に応じてご使用下さい。

注意:メモリー機能(記憶)は装備していませんので、記録を後に呼び出しすることは出来ません。

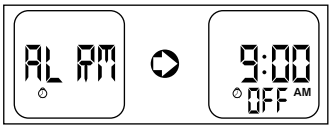
3. 計測中にBボタンを押すと計測が停止します。
4. Dボタンを約3秒間押し続けて下さい。
☒「HOLD」表示に引き続き、計測したタイムがクリアー（消去）されます。

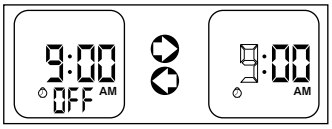
☒
注意:スプリット(SPLIT)は「累計タイム」を意味しています。

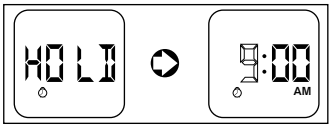
9. アラームの設定方法

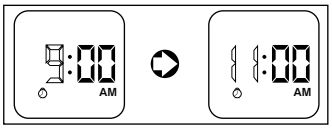
時刻表示からCボタンを2回押すと「ALRM」表示に引き続きアラーム表示になります。
アラーム設定に必要なボタンは以下の3つのボタンです。

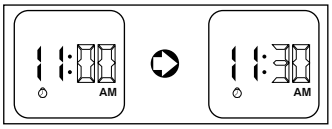
ボタン名称	機能
Dボタン	設定開始/設定終了
Bボタン	修正ボタン
Cボタン	点滅移動ボタン

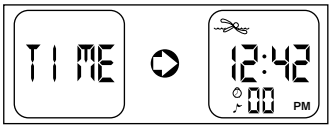


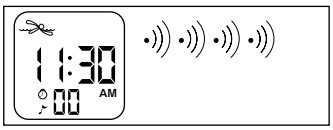












1. Dボタンを約3秒間押し続けると「HOLD」表示に続いて「時」位置が点滅します。
2. Bボタンを押して「時」を設定して下さい。

☒
注意:「時」を設定する際に「AM」「PM」表示が連動しています。午前／午後の設定にご注意下さい。

☒
注意:「AM」「PM」表示は、時刻設定時に「12時間制時刻表示」を選択した場合に表示されます。

3. Cボタンを押すと「分」位置が点滅します。
4. Bボタンを押して「分」を設定して下さい。

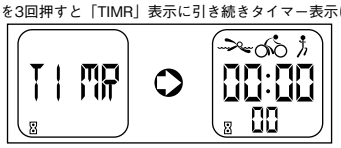
☒
5.修正完了後、Dボタンを押すと点滅が停止して設定完了となります。

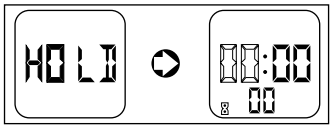
10. アラームの使用方法

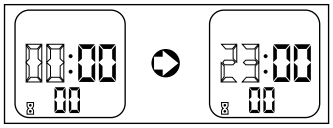
時刻表示からCボタンを2回押すと「ALRM」表示に引き続き、アラーム表示になります。
アラーム設定を完了させた状態でBボタンを押して「ON」表示にするとアラームが作動し、「OFF」表示にすると停止します。
「ON」「OFF」表示はBボタンを押すごとに切り替わります。

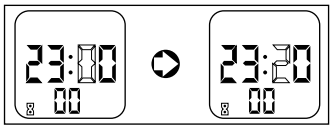
11. タイマーの設定・使用方法

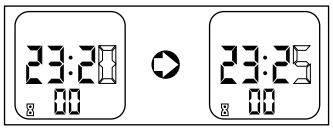
時刻表示の状態からCボタンを3回押すと「TIMR」表示に引き続きタイマー表示になります。

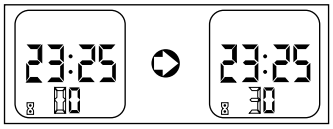


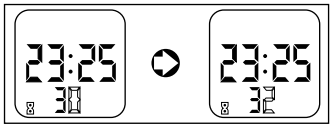


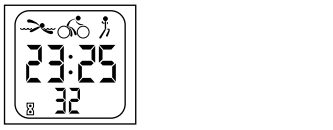


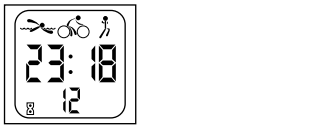


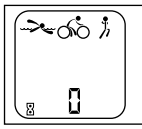


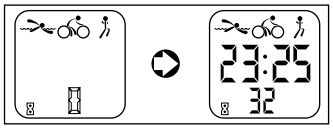


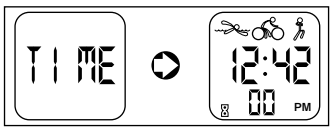












タイマー設定に必要なボタンは以下の3つのボタンです。

ボタン名称		機能
Dボタン	➡	設定開始/設定終了
Bボタン	➡	修正ボタン
Cボタン	➡	点滅移動ボタン

タイマー機能とは設定したタイムが減算され「0:00.00」になるとアラーム音が作動する機能です。
タイマー機能の最大設定時間は「23:59.59」までです。

タイマー機能の設定方法

1. Dボタンを約3秒間押し続けると「HOLD」表示に続いて「時」位置が点滅します。
2. Bボタンをを押して「時」を設定して下さい。
3. Cボタンを押すと「分」位置の10の位が点滅します
4. Bボタンを押して「分」位置の10の位を設定して下さい。
5. Cボタンを押すと「分」位置の1の位が点滅します。
6. Bボタンを押して「分」位置の1の位を設定して下さい。
7. Cボタンを押すと「秒」位置の10の位が点滅します。
8. Bボタンを押して「秒」位置の10の位を設定して下さい。
9. Cボタンを押すと「秒」位置の1の位が点滅します。
10. Bボタンを押して「秒」位置の1の位を設定して下さい。
11. 修正終了後、Dボタンを押すと点滅が停止して設定完了となります。

タイマー機能の使用方法

タイマー機能をスタートする
タイマー機能を設定した状態でBボタンを押すとタイマー機能が作動します。
タイマー機能を一時停止／リセットする
タイマー機能を作動中にBボタンを押すと作動は一時停止します。
一時停止した状態で、Dボタンを押すと設定したタイムに戻ります。
アラーム音を任意に停止させる
アラーム音を任意に停止させたい場合は ＡＢＣＤのいずれかのボタンを押すとアラーム音は強制的に停止します。但し、Cボタンを押した場合は液晶表示画面が切り替わる場合がありますのでご注意下さい。
☒
注意:タイマー機能の設定を削除することは出来ません。
「0:00.00」に戻す場合はタイマー設定方法に従って「0:00.00」に設定して下さい。

12. 防水性・耐水性

ケースもしくはウラブタに防水表示のあるモデルに限ります。
防水表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用下さい。
表示のないモデルは、非防水性です。

非防水性 汗などでもケース内に浸水しますので､取扱いには十分な注意が必要です。
30M･3気圧　→　日常生活防水 水中でのご使用は不可能です｡雨･手洗いの際の水しぶきに耐えうる程度の防水性です。
50M･5気圧　→　日常生活防水 水中でのご使用は不可能です｡水仕事に耐えうる程度の防水性です。
100M･10気圧　→　日常生活強化防水 水泳程度のご使用は可能です。
200M･20気圧　→　日常生活強化防水 水中でのご使用は可能です｡但し､飽和潜水･空気潜水にはご使用出来ません。

13. 防水機能についてのお願いとご注意

・防水機能表示をご確認の上、使用可能範囲に添って正しくご使用下さい。
・水中や水分が付着したままの状態ではケース内に浸水する恐れがありますので、リュウズ・プッシュボタンなどを作動させないで下さい。
・防水機能は永久的に継続するものではありません。外装部品やパッキング類の劣化・老朽に伴って機能低下します。
・時計に汚れなどが付着していると防水機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・水に関するスポーツなどでご使用の際、瞬間的に耐圧限界を超える衝撃が加わった場合には浸水する恐れがあります。
・本格的なダイバー向けの防水時計ではございませんので、ダイビングにはご使用にならないで下さい。
・防水時計であっても入浴中のご使用はお避け下さい。
・シャワーや蛇口からの水圧は、高水圧の恐れがありますのでお避け下さい。
・防水機能を超えたご使用による故障の場合は、特別な場合を除き有償修理対応となります。

14. 電池寿命

電池寿命は、新しい電池をセットしてからの持続年数です。
電池寿命は、1日1回1秒のINDIGLO ナイトライトを使用した場合を想定したものです。
電池番号末尾のCELLは、電池を意味しています。

電池番号		電池寿命
CR 2016 CELL	➡	3年

時計精度に遅れが生じたり、INDIGLO ナイトライトが暗くなった場合は、電池交換を必要としている可能性がありますので、弊社に電池交換をご依頼下さい。

15. 電池についてのお願いとご注意

電池について
・時計をお買い求めいただいた際に組み込まれている電池は、機能・性能を見るためのモニター用です。電池寿命に満たない場合もございますので、予めご了承下さい。
・電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、液漏れなどによる故障の原因となりますので、お早めに交換をして下さい。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。
警告
・破損の恐れがありますので、お客様ご自身で電池を時計から取り外さないで下さい。
・やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はお子様の手の届かないところに保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、身体に害を及ぼす可能性がありますので、直ちに医師にご相談下さい。
注意
・破損・発熱・発火などの恐れがありますので、電池を分解、ショート、加熱、火に入れるなどの危険行為をしないで下さい。
・ご使用の電池は充電式ではありません。液漏れや破損を生じる恐れがありますので、絶対に充電はしないで下さい。
・常温（5℃～35℃）からはずれた温度環境下に長時間放置すると、電池寿命が短くなったり、液漏れを生じることがあります。

16 時計の精度

TIMEX社の規格では、クォーツウォッチは月差±15秒以内、メカニカルウォッチ（機械式）は日差±30秒で調整されています。ただし、ご使用の条件により変化することもありますので、予めご了承下さい。

17. ご使用上の注意とお手入れ方法

日常のお手入れ
・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビや腐食で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となることがありますので、常に清潔にしてご使用下さい。
・時計を外した時は、柔らかい布などで汗や水分を拭き取るだけでケース・バンド・パッキンの寿命が違います。
・皮バンドは、柔らかい布などで吸い取るように軽く拭いて下さい。擦るように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。
・皮バンドは素材の性質上、色落ちする場合があります。特に水や汗などで濡れると色落ちしやすくなります。衣類・持ち物・肌などに色落ちが付着した場合は、直ちに時計・バンドを取り外して良く拭き取って下さい。
・金属バンドは、柔らかい歯ブラシなどを使い、金属バンドのみを水で洗って下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。
・ウレタン・プラスチックバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどい場合は水で洗浄して下さい。バンド部分の取り外しが可能であれば、取り外してから洗浄して下さい。バンドの取り外しが不可能な場合は、時計本体に水がかからないようにご注意下さい。通常のご使用でも素材の性質上、硬化・変色する場合があります。
・非防水時計は、湿度のあるところや汗などにご注意下さい。万一、濡れた場合は、直ちに吸湿性のよい布などで水分を吸い取って下さい。
・日常生活強化防水時計（10気圧・20気圧）を海水などでご使用になった場合は、洗剤や薬品などは使用せずに、水を使用して水分や汚れを拭き取って下さい。
・回転式ベゼル・リュウズ・プッシュボタン類は、汚れが付着していると機能の妨げとなりますので、清潔にしてご使用下さい。
・時計・バンドに科学薬品・ガスなどが付着すると、変形・変色・破裂する場合もありますので、絶対に付着させないで下さい。

かぶれやアレルギーについて
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用下さい。
・かぶれやすい体質の方や体調によっては、皮膚に異常がある場合があります。
・腐食・汚れ・汗などが、皮膚の異常を引き起こす原因となる場合がありますので、時計は清潔にしてご使用下さい。万一、皮膚などに異常を生じた場合は、直ちにご使用を中止して医師にご相談下さい。

保管について
・「0℃～50℃」からはずれた温度では、機能が低下したり、停止したりする場合があります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないで下さい。
・極端にホコリの多いところに放置しないで下さい。
・強い振動のあるところに放置しないで下さい。
・薬品にふれるところに放置しないで下さい。
・温泉や防虫剤の入った引き出しなど特殊なところに放置しないで下さい。

18. 時計外装部品の損傷・破損について

・時計外装部品の損傷・破損は、保証期間内に於いても特別な場合を除き有償修理対応となります。又、損傷・破損が原因であっても、紛失された場合は保証の範囲ではありません。
・回転ベゼルリング・リュウズ・ボタン・ハンドバックル等の可動部分の損傷・破損は保証の範囲ではありません。
・ご購入頂いてから間もない商品以外の時計のナイロンバンド・皮バンドの裁縫のほつれは、特別な場合を除き有償修理応対となります。

19. アフターサービス

修理を依頼される場合
時計の不具合及び修理は、不具合箇所を明記していただき下記宛にご郵送下さい。
弊社発行の保証書を必ずご同封下さい。添付のない場合は、保証期間内に於いても有償対応となりますので予めご了承下さい。

予めご了承いただきたいこと
消耗部品は経時変化しますので、必要に応じて点検及び部品交換をお申し付け下さい。
修理の際、「代替部品」を使用させていただく場合や、修理が困難な場合は「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。
特別注文された製品の修理では、純正部品での対応となる場合があります。
日本国内未入荷モデルは、修理対応が「不可能」な場合や「同等品との交換対応」とさせていただく場合があります。

日本総代理店
DKSHジャパン株式会社　カジュアル･ライフスタイル
〒108−8360　東京都港区三田3丁目4番19　DKSH三田ビルディング
TEL:03(5441)4515　FAX:03(5441)4522
URL：http://www.timexwatch.jp